



されているため、中に入るこ
とができないのが現状である。
今後AEDの管理方法や利用
方法について検討する必要が
あると思われるが、見解を伺
う。

**教育
次長** 学校施設へのAEDの整
備については、公立小学

校、中学校、幼稚園の全てに
実施済みであり、大部分の学
校では職員室に設置してい
る。議員ご指摘のとおり、教
職員不在時には校舎に鍵が掛
かっているAEDが利用でき
ないことから、緊急事態が生
じた場合、教職員が不在であ
っても迅速に利用できるよう
に、設置場所の見直しを早急
に行いたい。

(掲載以外の質問事項)

一 高齢者いきいき健康体操
の普及促進について
三 環境会計の導入について

のりあいタクシー土浦
について



荒井 武 議員

質問 茨城県の運転免許課によ
ると、県内で七十五歳以

上の免許保有者数は、全体の
免許保有者数の四パーセント
を占める一方、六十五歳以上
の自主返納率は増加傾向にあ
るといふ。免許辞退者の交通
手段が限られてくる中、平成
十九年度から運用開始した
「のりあいタクシー土浦」の
存在は大きいと思われるが、
運用についての現状認識と今
後について伺う。また、利用
助成券の今後についても伺う。

市長 のりあいタクシー土浦に
ついては、当初目標会員

数を大きく下回る状況だった
ことから、平成二十年四月か
ら高齢者移送サービス助成事
業を開始し、年会費九千円の
うち七千円を助成することと
した。こうしたことから登録
会員数は宣伝効果もあり、
徐々に増加している。助成事
業開始の年会費助成は一回限

りであったが、平成二十一年
度は会員更新者にも助成を拡
大したところであり、さらに
利用者が増えるものと考えて
いる。今後も高齢者の足とし
て十分に活用され、早期に定
着が図れるよう一定の期間は
支援したいと考えている。利
用者のご支援ご協力をお願い
したい。

(掲載以外の質問事項)

一 生活福祉資金貸し付け制
度について
三 土浦駅周辺への駐輪場の
整備について

土浦市永井地区で発生した不
法投棄の状況と再発防止策に
ついて



矢口 清 議員

質問 土浦市永井寄居地区で発
生した不法投棄問題につ

いて、本市の土砂等による土
地の埋め立て等の規制に関す
る条例があるが、不法投棄を
した業者に対し、被害額の補
償と原状回復命令を出す必要
があると思われる。また、不
法投棄撲滅を図るためには、
現行の条例に未遂罪、目的罪

等に加え、行政がもつと強力
な権限を持った条例に改正す
る必要があると思われるが、
見解を伺う。

**市民生
活部長** 原状回復命令については、
本市条例に違反した場合、

埋め立ての中止や土砂の撤去、
その他必要な措置を求める措
置命令が定められていること
から、顧問弁護士とも相談し、
現在作業を進めている。被害
額の補償については、請求者
は地権者になるものと考えて
おり、地権者の方も告発等の
法的対応を検討していると聞
いていることから、その動向
を踏まえての対応になると考
えている。また、未遂罪、目
的罪を加えての条例改正につ
いては、違法埋め立て行為の
確認や立証等、実効性を確保
する部分で難しいと思われる
が、未然防止は重要であるこ
とから、まずは現条例を運用
し、情報収集やパトロール等
を積極的にを行い、早期発見、
早期対処に心掛け、迅速かつ
的確な対応をしてまいりたい。

肺炎球菌ワクチンにつ
いて



福田一夫 議員

質問 肺炎球菌ワクチンには、
肺炎予防効果とともに、

肺炎球菌による肺炎になつて
も軽症で済む、抗生物質が効
きやすいなどの効果がある。
近年徐々にではあるが各自治
体において公費負担が広がっ
ていることから、本市での対
応について伺う。

**保健福
祉部長** 国や県の動向を見なが
ら検討していたものの、国

の肺炎球菌ワクチンについて
の検討会は開催されず、現在
も肺炎球菌ワクチンは定期的
予防接種には定められていな
い。また、医師の中には希望
者への接種はするものの、積
極的推奨はしていないとのご
意見もあることから、今後も
医師会等のご意見をいただ
き、さらなる検討が必要であ
ると考えている。

(掲載以外の質問事項)

二 児童・生徒への就学援助
制度について

